

平成30年度 東京都立杉並工業高等学校経営報告

1 今年度の取組と自己評価

本校は、専門的な技術・技能の確実な習得や資格取得・検定合格に向けた指導に力を入れ、危険物取扱者、電気工事士、陸上特殊無線技士などの国家試験のほか、計算技術検定、情報技術検定などの検定試験など、生徒の進路や希望を踏まえ、始業前に朝講習を実施するなどし、合格に向けて組織的・計画的に取り組んだ。また、2年生全員を対象に83事業所等で5日間のインターンシップを実施したり、学年段階に応じた各種進路ガイダンス等を行ったりし、勤労観・職業観の育成を図るとともに、進路選択に主体的に取り組む意欲を高めた。就職については、求人件数が1050件と増加し、1回目の就職試験の合格率も9月末の段階で75%と好調であり、その後も、生徒、教員ともに粘り強く取り組み、年内に就職希望者全員が内定を得ることができた。部活動は、生徒の約74%が部や同好会に所属し、運動部については、柔道部、サッカー部、バレーボール部、バスケットボール部、野球部、卓球部、バドミントン部、陸上部などが活発に活動をしている。特に柔道部は難関である関東大会に出場するなど、都立高校トップクラスを維持、バレー部、サッカー部は都立工業高校トップレベルである。今後は、他部も大会等での実績を高めることが課題である。また、工業高校ならではの特色を生かした機械工作部、模型工作部、電子工作同好会なども、活動を通じて専門的な技能を高めている。特に電子工作部は、地域連携事業で小学校においてプログラミング実習を小学生対象に指導するなど本校のPRにも貢献した。入学者選抜については、推薦による選抜において、サッカー、柔道、バレーボール、野球の種目で、文化・スポーツ等特別推薦を導入し、推薦に基づく選抜の応募倍率は1.6と若干低下した。一方、学力検査による選抜の第一次募集の倍率は0.53倍となり、第二次・三次募集となった。今年度も、私学助成政策等が大きく影響した。よって学校説明会などの広報活動について内容や方法をさらに工夫し、本校の工業高校としての特色を中学生やその保護者、地域等に一層周知していくことが今後の課題である。

2 具体的な取組・数値目標に対する成果と課題（教育活動及び重点目標への取組と自己評価）

	取組項目・数値目標	成果と課題
学 習 指 導	◇授業力の向上 ・若手教員を中心とした授業力向上に向けた研究協議3回以上 ・他教員の授業観察年2回以上	・授業力向上のための授業研究は、若手教員を中心に予定通り3回実施でき、ベテラン教員等からの助言を得ることができた。 ・教員間による相互授業観察は、1回以上が40名、2回以上はその半数に留まった。
	◇学力の向上 ・学力向上研究校事業を活用し、該当生徒の学力向上率60%以上	・今年度、学力向上研究校3年目である。年2回基礎学力テストを実施した。2回目の学内偏差値が向上した生徒の割合が約60%であった。 ・研究指定校は次年度も継続となった。次年度に向けて個別指導の強化、本事業における担任負担の軽減が引き続き課題となっている。
	◇ものづくり人材育成プログラム事業の活用 ・工業3科講演会等1回以上	・電子科講座「電子工作と無線の資格」1学年対象実施 ・理工環境科講座「環境とものづくりの品質管理の関係について」2学年対象実施
	◇成績優良者の増加 ・100人以上 成績優良者：評定平均4.0以上	・成績優良者は、1学年が33人、2学年が31人、3学年が30人、全体では94人であり、若干減少した。 ・入学する生徒の基礎的学力が厳しい状況の中、学力向上研究校（校内寺子屋）事業の活用や、基礎・基本の確実な定着、授業規律の確立を組織的に行うことで改善を図っていきたい。
	◇技能スタンダードに基づく資格取得等の指導の充実 ・国家資格取得者数200名以上 ・認定資格取得者・検定合格者数300名以上	・危険物取扱者、電気工事士などの国家資格取得者数は94名で、認定資格取得・検定合格者数は271名であった。資格や検定の合格率が向上できるように、講習会の参加率を高めるとともに、指導の改善を図ることが課題である。

生活指導・部活動	<p>◇遅刻者数の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆勤・精勤者を150名以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業前の資格取得等の講習や各学年による学期ごとの遅刻指導等を実施していることにより、1日当たり、1学級当たりの遅刻者数は0.3人程度であり、遅刻者が少ない良好な状況が維持できている。 ・皆勤者及び、精勤者は計147名であった。
	<p>◇部活動参加生徒の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加生徒85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校では運動部12、文化部11が設置されている。部活動に参加している生徒の割合は、全体では74%であり、目標を下回った。部活動の振興に一層取り組んでいく。
	<p>◇部活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合等の実績前年度以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都教育委員会から部活動振興予算の重点配付を受け、運動部においては技術指導の充実や大会実績の向上、文化部においても活動内容の充実や発表会等での実績の向上を目指して取り組んだ。 ・柔道部、卓球部、サッカー部、バレー部などが都内大会等で実力を高めた。柔道部は、関東大会進出を果たし都立高校トップレベルである。文化部は、写真部が様々な表彰を受け活発化している。 ・入学者選抜の推薦の基づく選抜で、柔道、バレーボール、サッカー、野球の種目で、文化・スポーツ等特別推薦を導入しているため、さらに部活動の充実を図る。
	<p>◇教育相談の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーとの連携による校内研修2回以上 ・学校いじめ対策委員会月2回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーによる校内研修を1回実施した。 ・カウンセリング委員会は、適宜開催している。 ・学校いじめ対策委員会は、毎週実施し、生徒情報共有を徹底した。 ・年度当初に、新入生に対して、スクールカウンセラーが全員に面接を行い、生徒にとって相談しやすい環境づくりに努めた。
	<p>◇規範意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴力行為、いじめゼロ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい月間を中心に、年3回アンケートを実施した。また集会等での指導、カウンセリング委員会等で対応するなど、いじめの未然防止に取り組んだ。 ・いじめに関連する問題行動等は厳しく対応した。
進路指導	<p>◇キャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路決定率100%（フリーター・ゼロ） ・インターンシップを2学年生徒全員が実施 ・企業や上級学校訪問を最低1回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路ガイダンス、適性検査、SPI対策、ビジネスマナー教室、進路体験講話など、学年進行に応じて、計画的にキャリア教育や進路指導を行い、就職希望者の内定率は100%であった。 ・第2学年生徒全員が、都内83事業所で5日間のインターンシップを行い、職業観等の意識の醸成を図った。また3月にインターンシップ体験発表会を実施し、1学年生徒への進路指導を、中・長期的な視点に立ち計画的に行った。 ・全教員が企業訪問を1ヶ所以上実施した。
	<p>◇就職指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職希望者の内定率100% ・初回の就職試験の合格率70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・初回の就職試験の合格率は75%であったが、年度内には就職希望者の内定率100%を達成した。生徒が自己の適性を踏まえ、主体的に進路を選択できるようキャリア教育の充実を一層図ることが課題である。
	<p>◇進学指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学希望者の大学・専門学校進学率100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定校推薦、A0入試等を中心に、23人が大学に合格し、専門学校等は31名が合格した。現役合格を果たすための学力向上に加え、進学先の授業等に対応できる学力の定着を図ることが課題である。

特別活動・環境保全	<p>◇奉仕活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人間と社会」に関わる奉仕体験活動3回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並区クリーン大作戦（年1回）、善福寺公園清掃活動（年1回）、救命救急講習（年1回）、計3回実施し、目標を達成した。
	<p>◇地域連携の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携に関わる体験活動3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並区立井草中学校の生徒に対して、本校の特色である各科のものづくり体験授業を2回実施した。 ・本校電子科生徒が課題研究授業を活用し、三谷小学校との連携事業において、プログラミング授業を実施した。 ・桃井第四小学校で開催される夏祭り事業への参加は未実施となった。次年度は内容を再検討し参加予定である。
学校運営・組織体制	<p>◇本校の魅力を伝え、入学希望者を増加させる活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会、見学会参加者数延べ600名以上 ・全教員による中学校訪問数70校以上 ・中学校への出前授業3回以上 ・杉並区内小・中連協議会への参加1回以上 ・推薦に基づく入学者選抜応募倍率1.5倍以上 ・学力検査に基づく入学者選抜の応募倍率1.1倍以上 ・学校HPの年100回以上の更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の学校見学会等には生徒・保護者総計672名が参加、さらに1月・2月に個別相談会を開催し、昨年比をこえた広報活動を行ったが、私学助成等の影響もあり、入選2次募集回避とはならなかった。 ・中学校訪問は141校について実施した。 ・中学校への出前授業は、電子科を中心に3校行った。 ・杉並区内の小・中連協議会には2回参加できた。 ・推薦に基づく入学者選抜の応募倍率は、全体では1.6倍で目標達成できた。 ・学力検査に基づく入学者選抜の最終応募倍率は、全体で0.53倍となり、目標の1.1倍は達成できず二・三次募集となった。 ・学校HPのトピックス等の更新回数は年間120回以上行い、教育活動の発信が積極的に実践できた。
学校運営・組織体制	<p>◇ものづくりの面白さを子供たちに伝える活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり教室参加者数100名以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわくどきどき工作スタジオの児童・生徒の参加者数は25名であった。都全体としての広報活動に課題が残った。 ・近隣の小・中学校と地域の連携を充実させ、地域連絡協議会が主催する子供地域活動促進事業等を通じて、ものづくり体験を実施し、476名の児童に、ものづくりの面白さを体験させた。
	<p>◇家庭との連携、校内体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中途退学者数15名以下（転学者を除く。） ・体罰ゼロ 	<ul style="list-style-type: none"> ・中途退学者は、1学年18名、2学年3名、3学年0名、計21名であった。教育相談の充実や問題行動の未然防止に取り組んだが、特に1学年の中途退学者が増加した。今後も、きめ細かな指導により、中途退学の防止に努める。 ・体罰については、校内研修を実施したほか、全教職員で防止に取り組み事故ゼロを達成した。
	<p>◇組織的な取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営連絡協議会の学校評価満足度(100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営連絡協議会の協議委員のうち回答が得られた協議委員全員から、「学校がよくなった」ということについて肯定的な評価を得た。 ・本校に入学してよかった割合は、生徒約65%、保護者の約91%であった。引き続き満足度100%を目指す学校経営を推進する。

3 次年度以降の課題と対応策について

- (1) 前年度より学力向上研究校（校内寺子屋）を導入しており、今年度は基礎学力テストを年2回実施できた。前半・後半の基礎学力テストの成績では、向上した生徒の割合が約6割となった。次年度以降も2年間の学力向上研究校を継続する方向である。目的が達成できるようさらに取り組みを強化していきたい。
- (2) 資格取得を一層推進し、全校体制で受験の奨励や指導を行い、その成果を募集対策においも効果的にPRしていく。
- (3) 本校HPにおけるトピックス、ツイッターの更新、正門等における「杉工のぼり」の設置等、塾、中学校教員対象の学校見学会等、積極的に広報活動を行った。次年度も私学助成の影響は大と考える。よって今年度以上の情報発信の改善・工夫、学校説明会等の内容の充実を図るとともに、日頃の生徒の身近な学校生活や本校の強みをアピールする等、募集対策を充実させる。
- (4) 工業3科の魅力発信等について、教育課程を含めた検討に入り、募集対策に向けた取組を強化する。